学校番号	104

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	日本史探究	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「詳説日本史」（山川出版社）						
副教材等	「最新日本史図表」（第一学習社） 「日本史用語集」（山川出版社） 「ウィニングコンパス日本史の整理と演習　2026（東京法令出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歴史への興味、関心を持つ。
・歴史的なものの見方、考え方を身につけようとする姿勢で学ぶ。
・世界史的視野で近世日本の歴史を捉え、近現代史の理解に繋げる。
・授業では教科書の他、副教材として図説や史料集も使用しますので、忘れずに持ってくること。

2　学習の到達目標

・社会的事象の歴史的な見方・考え方を習得するとともに、日本史に関する通史的な知識を身に付ける。
・身に付けた知識を活用して、世界史的視野をもって多角的に歴史事項を考察できる歴史的思考力を養う。
・歴史に学ぶ姿勢を培い、今日の国際社会に生きる日本人としての資質を養う。
・世界における日本の歴史に対する意識・関心と問題意識を高め、主体的に学ぶ姿勢を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について，地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解する。 諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身につける。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	日本史の展開に関わる諸事象についての学習を通して、よりよい社会の実現を視野に入れ、自ら発見した課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される社会の構成員としての自覚や、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚を深める。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	日本文化のあけぼの	・文化の始まり ・農耕社会の成立	a:水稲耕作の開始・金属器の伝来が弥生文化の社会に与えた影響を理解し、弥生土器などの出土品から得られる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:小国の形成から邪馬台国などの小国の連合について、環濠集落や武器の出現、「魏志」倭人伝などの文献資料にもとづき、国内外の情勢を踏まえて多角的に考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:黎明期の日本列島の歴史的環境と文化の形成について考察することを通じて、旧石器文化や縄文文化の特色を明らかにしようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	歴史資料と原始・古代の展望	・古代社会と海外との交流 ・木簡から古代国家を探る	a:中国の歴史書の記事をもとに、資料から歴史に関わる情報を収集して読み取る技能を身につけている。 b:中国の歴史書の特性を踏まえ、資料を通して読み取れる情報から、原始・古代の特色について多面的・多角的に考察し、仮説を表現している。 c:木簡を資料として活用し、律令国家における文字文化の広がりについて主体的に考察しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	古墳とヤマト政権	・古墳文化の展開 ・飛鳥の朝廷	a:国家の形成と古墳文化について、中国大陸・朝鮮半島との関係に着目して、小国の形成過程や古墳の特色を理解している。 b:仏教の受容や遣隋使の派遣などの大陸との交流について、資料をもとに考察した結果を、根拠を示して表現している。 c:中国大陸・朝鮮半島との関係などに着目して、推古朝の政治や文化の展開についての課題を主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

1	律令国家の形成	・律令国家への道 ・平城京の時代 ・律令国家の文化 ・律令国家の変容	a:隋・唐など中国王朝との関係と文化への影響などに着目して、律令体制の形成と密接に関連する仏教文化の特色を理解している。 b:文献資料をもとに、藤原氏を中核とする政治抗争の進展と墾田永年私財法にみられる土地制度の変容を関連づけて考察し、根拠を示して表現している。 c:隋・唐などの中国王朝から導入された文化を考察し、政治や社会の動きとのつながりを見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
2	貴族政治の展開	・摂関政治 ・国風文化 ・地方政治の展開と武士	a:藤原北家が権力を掌握していく過程を資料から読み取り、律令体制の変容の観点から摂関政治を理解している。 b:文献資料を活用して、国司の支配の変容と公領の変質、荘園の発達を踏まえて地方支配の状況を考察し、根拠を示して表現している。 c:平安時代の政治の在り方と文化との関係を考察することを通じて、そのつながりを見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	院政と武士の躍進	・院政の始まり ・院政と平氏政権 ・歴史資料と中世の展望 絵画から中世社会を探る	a:貴族政治や土地制度の変容などをもとに、諸資料から得られる情報を適切かつ効果的に調べてまとめ、古代から中世の国家・社会の変容を理解している。 b:武家政権の権力基盤となる武士の土地所有に至る変化を考察し、歴史における土地の支配や所有がもつ意味について多面的・多角的に考察し、表現している。 c:中世の京都を描いた絵画資料から得られる情報をもとに、中世社会の特色について主体的に課題を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

2	武家社会の成立	・鎌倉幕府の成立 ・武士の社会 ・モンゴル襲来と幕府の衰退 ・鎌倉文化	a:承久の乱が幕府と朝廷との関係に与えた影響について、諸資料から適切に情報を読み取り、理解している。 b:幕府と朝廷の二元的支配構造の特色について、諸資料から得られた情報をもとに、根拠を明確にして表現している。 c:鎌倉時代の宗教や文化にみられる平安時代からの特徴の継承や差異について、主体的に追究しようとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
3	武家社会の成長	・室町幕府の成立 ・幕府の衰退と庶民の台頭 ・室町文化 ・戦国大名の登場	a:守護大名と戦国大名の権力の相違点などについて諸資料から情報を読み取り、戦国時代の大名による領国経営の特徴を理解している。 b:自治的な村の単位や一揆の組織が成立した要因と背景について、地理的な条件や流通など経済活動との関わりを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:室町時代の宗教や文化の特徴について、鎌倉時代との比較を通じて類似点や差異を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題
	近世の幕開け	・織豊政権 ・桃山文化	a:村落や都市の支配の変化、アジア各地やヨーロッパ諸国との交流に関する諸資料から情報を読み取り、織豊政権の特色や貿易・対外関係について理解している。 b:織豊政権の諸政策の目的や、ヨーロッパ諸国の進出がアジアに与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 c:桃山文化の特色について、中世文化の特色との比較を通じて、その類似と差異を見出そうとしている。	定期考査 問題演習	定期考査 レポート 提出課題	レポート 提出課題

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度